

占いと血液型性格診断を考える

1 血液型で性格は決まるのか？

「血液型は XX で一す！」とって自己紹介するのはだれでもよくやっていることらしい。この習慣、日本だけでしか通用しない「奇妙な」文化である。一種の遊びとして考えればたいして咎(とが)めるほどのものでもないように思える。だが、血液型で性格を判断したり占ったりすることには、いろいろな問題がある。それに、血液型によって性格に差があるという説は、多くの心理学者の研究によって否定されている。つまり、血液型による性格の分類は根拠のない誤った俗説にすぎない。

それがなぜ、今でも流行したりするのだろうか？そのことを理解するには問題の社会的歴史的背景やマスメディアの問題、人間の認知能力の問題について考えてみる必要がある。

1.1 だれか言い出したのか

- 1927 古川竹二「血液型と気質に関する研究」
 - 1971 能見正比古「血液型でわかる相性」青春出版社
 - 1973.7 女性誌初 「ヤングレディ」まったく新しい血液型相性学
 - 1973.12 批評系初 *「科学朝日」血液型で人格が決まるか
 - 1979.7 「ABOの会」発足
 - 1981.10 「女性自身」 星座 + 血液型で見る良い相性、悪い相性、普通の相性
 - 1982.5 *NHK「ウルトラ・アイ」日本大学山岡淳教授による調査結果
 - 1982.6 *松田薫「ABO遺伝子(分布図)と文化現象」科学基礎論学会
 - 1984.1 能見俊賢「月刊カドカワ」で「男と女の血液型愛情学」を連載
 - 1984.2 *NHK「おはよう広場」日本大学大村政男教授による調査結果
 - 1984.7 *TBS「諸君！スペシャルだ！」東京都立大学詫摩武俊教授ほかによる調査結果
 - 1984.11 *「毎日新聞」「え！血液型で求人 新差別を生む恐れ」の記事
 - 1984 雑誌記事に掲載された「血液型」記事は60件以上。また、血液型による求人広告も行われた。
 - 1997.6 発掘！あるある大事典「検証・血液型性格のウソ・ホント」
 - 2004.4 発掘！あるある大事典2「春の芸能人血液型スペシャル」
 - 2007.8 an・an「血液型でわかる本当のあなた」
- (* は批判的に捉えたもの)

能見父子の著書では、本の読者のアンケート結果を集計することで血液型が性格に関係するという結論が引き出されている。

1.2 科学的な検証の結果はどうだったか

多くの心理学的な研究の結果として、血液型と性格が関係するという判断ができるようなデータは得られていない。

「100%関係ない」という結論は、科学的な議論で出すことはできない。ただし、巷で流布されているような相関があれば、それは有意なデータを出すはずであるから、「血液型で人の性格がけっこうちがう」という感覚的判断は、明白に否定してよい。

この種の判断をデータに基づいて下すには、統計学の知識、特に統計的検定に関する理解が必須である。ただし難しいことを言わなくても、次のような判断は誤っている。

私の親しい人には A 型の人が多く、みな努力型である。やはり A 型だからだ。

日本の総理大臣には O 型がとても多い。それは細かいことにこだわらない性格が政治家に向いているからだ。

これらは単に思い込みに当てはまる例について言及しているにすぎない。個人的体験や少数の事例の一般化によっては、客観的な傾向はつかめない。

1.3 400 万人が参加した「究極の血液型性格診断」—当たるはずだよ自分の性格

『ブラッドタイプ』（松岡圭祐、徳間書店、2006）は大掛かりなネットワーク上での「罨」を仕掛けた。参加したのは 400 万人。その 9 割近くが「血液型性格診断が当たっている」と回答した。これはバーナム効果*1を実証する興味深い社会実験になった。次の URL から体験できる。
<http://www.senrigan.net/bloodmind/>

1.4 血液型には何種類あるのか

組み合わせは数百種類にもなる。ABO は分類のひとつにすぎない。

ABO 血液型 A, O, B, AB

Rh 血液型 D, C, c, E, e

MNS 血液型 M, N, S, s, u

Lutheran 血液型 Sc1, Sc2, Sc3

その他何種類もある。

1.5 それでも復活する血液型俗説

マスメディアの影響力はきわめて大きい。B 型が差別やいじめに会うという事件も子供の世界で起きてしまった。しかし昔は A 型がダメ人間とされたこともあるのだ。ころころ変わる類型化って、何なんだろう。

血液型による性格判断を扱うテレビ番組が、今春はとて多かった。特定の血液型を「いい加減な性格の持ち主」「二重人格」などと決めつける内容が目立ち、NHKと民放が設立した第三者機関「放送倫理・番組向上機構（BPO）」には、視聴者から「子供が血液型でいじめを受けた」「一方的な決め付けで不快」などの抗議が4月以降、50件以上寄せられた。このためBPOの青少年委員会は番組内容などを検討し、「科学的根拠があるかのような体裁で問題がある」などと判断、近く民放各社に対し、番組制作にあたり慎重な対応を、と要望する。（毎日新聞 2004.11.28）

テレゴング式に視聴者からの回答を使って集計したら、偏った結果が出るのは必至である。また少数のサンプルから何かを結論付けるのは統計的に意味がない。そして、テレビ局による「やらせ」や「演出」はバラエティ番組では常に行われていることだ。

あなたもそんなテレビ番組から発信されて流されてきた情報を真に受けなかつただろうか？

*1 誰にでも該当するようなあいまいで一般的な性格をあらわす記述を、自分にだけ当てはまる正確なものだと捉えてしまう心理学の現象（上記サイトの解説より）

マスメディアはなぜ俗説を何度でも流すのだろうか

どうしてだろうか？この問題意識はメディア、ジャーナリズム論のよいテーマになりうるはずだ。たとえばどんな階層に対して血液型俗説が集中的に注入されているのか、どんなメディアにその傾向は強いのか、なぜ女性週刊誌は繰り返し血液型性格判断を特集するのだろうか？など調べてみたいことはたくさん出てくる。関心を持つ人は自分のテーマとして追求してみるとよい（残念ながら小波ゼミの卒論にはなりません、現代社会学部の先生の中には卒研で取り上げさせてくれる人もいます）。

2 血液型性格判断はなぜまずいのか

2.1 そもそも性格ってなんだろう？

あなたは人間の性格を固定的に見てはいないか？しかし、私はいつも同じ自分ではない。私たちは一日の中でも気分が変わる。会う人によって接し方も異なる。おっちょこちょいな人が失敗を繰り返すうちに慎重な人になることもある。

性格は変わるものなのに

「自分の性格は●型だから引込み思案なんだ」 — そう思うことは、自分を変える努力から遠ざかることになるだろう。生まれつきの宿命で自分の性格が決まっていると思いついてしまうこと、それって実は自分を甘やかしていないだろうか？

2.2 他人への偏見をもたらす血液型性格判断

血液型は先天的に決まっている。私たちは自分の血液型を選べない。人種や性別と同じように、血液型はもって生まれた宿命なのだ。

初対面の人と血液型を教え合うってどうよ？

ありそうな答え：「親しみを増して楽しい。盛り上がるしい」

ほんとかな？次のようなことを考えてみよう。

- 聞いた瞬間に相手の性格を想像してませんか？そのことで人のもつ多面性に思い至らなくなってしまわないか。
- 血液型によっては、自分勝手とか協調性に欠けると言われているものもある（もちろん何の根拠もない）。該当する人*2は自分の血液型を言いたくない人はいないだろうか？いやなことを実は人に押し付けているのではないだろうか。

差別も生まれている

特定の血液型を嫌うという差別

上瀬・松井による調査：<http://www.chironoworks.com/ragnarok/psychology/log/eid23.html>

*2 悪く言われるのはたいてい B, AB の少数派だ。それってすごく陰湿だよな。

大学生に対して、『隣には住みたくないタイプ』、「仲間として一緒のクラブに入りたくないタイプ」、「結婚したくないタイプ」、「自分には好きになれないタイプ」を A, B, O, AB, 無の 5 つから選ばせた。その結果 AB を選ぶものが多かった（「無し」は 50～64% だったので半分近くの学生が「きらいな血液型」をもっていることになる）。

血液型で就職差別されたらどう思う？

就職で血液型を聞かれることは今でも起きているようだ（阪大菊池誠教授のサイト参照）。職場での人員配置に血液型で分けたという三菱電機の事例もある。

血液型による差別を認めることは、障害者の差別にもつながる。

3 わたしたちの生き方として

3.1 "My Bloodtype is A!" は日本人の恥

自己紹介で自分の血液型を言ったり、書いたりすることは、日本人の奇妙な習慣として有名な。やめておこう。日本人の間でも、ものを知っている人からは（紳士的にやり過ごしてくれるにしても）、軽蔑されてしまうかも知れないのだが。

3.2 遊びのつもりといいながら、その実気にしていないか？

身内の遊びの範囲ならともかく、あなたが軽く口にした「X 型って○×だから～」が、誰かをひそかに傷つけてはいないだろうか？ そんな人の気持ちに気付かないでいるとしたら、それって人間としてどうよ？ それとひょっとして、「私って●型なんだよなあ～」と密かに思っていないか？

3.3 どうして自分を類型にはめたいのだろうか？

わたしたちはなぜ自分や人を類型（ステレオタイプ、ステロタイプ）にはめたいのだろうか？ 次の問いを自分の心に投げ入れてみて、よくよく反芻（はんすう）してみよう。

- あなたはどんな「気持ち」から性格診断をしてもらいたいのですか？
- 性格診断の結果をもらったらそれをどう扱うつもりですか？

自分の意思をもって主体的に生きること、他人とへだてなく話し合っって相互理解をつねに深めようとする、類型にはめることはその反対の方向に人を導く。

3.4 ステレオタイプ化は思考停止の社会を作る

人をタイプに分けることは、多くの場合に差別と偏見を産み出す。歴史上で起きたそのための惨劇や不幸は数え切れない。